

『SDGs に前向き』 2年連続で低下

SDGs 目標に力を入れている企業
約 4 割が成果を実感

山口県・SDGs に関する企業の意識調査(2026 年)



本件照会先

山本 直樹(支店長)
帝国データバンク
山口支店
TEL: 083-974-5550

発表日

2026/08/17

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

『SDGs に前向き』な企業の割合は 50.9%で前年から 4.5 ポイント低下し、2 年連続で前年を下回った。内訳は、「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」が 24.6%、「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」が 26.3%となった。また、SDGs への取り組みによる成果を実感している企業は 38.9%で、「従業員満足度が向上した」「経営方針等が明確化された」が上位となった。

※帝国データバンクでは、「SDGs」に関する企業の意識調査を実施し、

山口支店で山口県に本社を置く企業の結果を集計・分析した。

調査期間:2026 年 6 月 17 日～6 月 30 日

調査対象:山口県 283 社で、有効回答企業数は 118 社(回答率 41.7%)

本調査:2020 年 6 月以降、毎年 6 月に実施し、今回が 7 回目

1.『SDGsに前向き』な企業、2年連続で前年を下回る

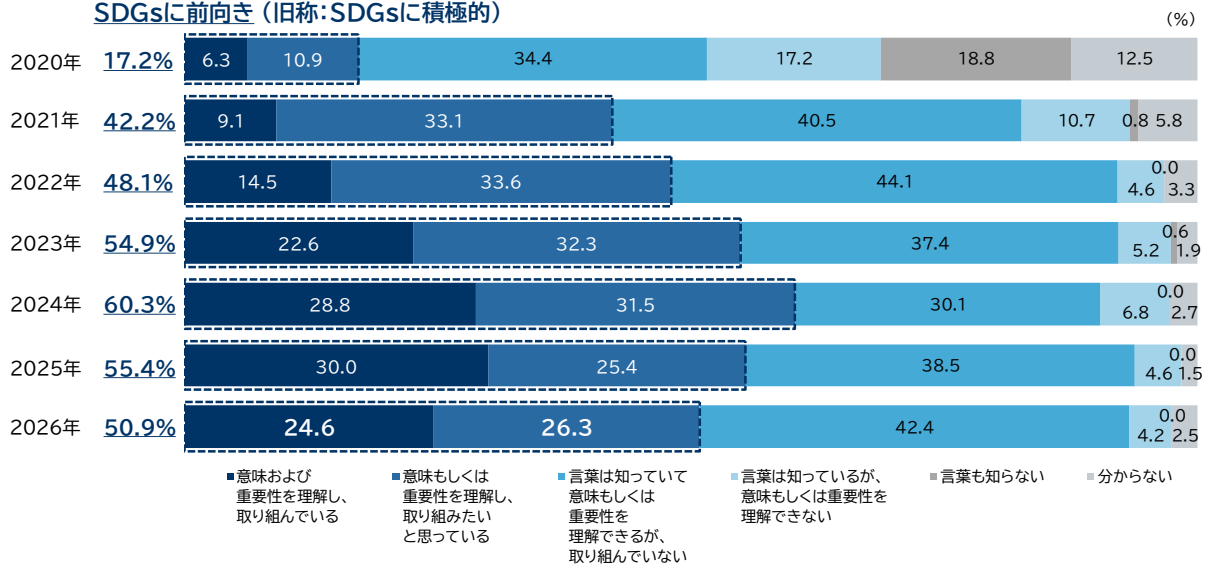
自社におけるSDGsへの理解や取り組みについて尋ねたところ、「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」と回答した企業は118社中29社、構成比24.6%を占めた。前回の2025年6月調査(30.0%)から5.4ポイント低下した。一方、「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」は26.3%(31社)で、前回調査(25.4%)から0.9ポイント上昇した。この2項目を合計した『SDGsに前向き』は50.9%(60社)となり、前回調査(55.4%)から4.5ポイント低下した。

一方、「言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない」は42.4%(50社)となり、前回調査(38.5%)から3.9ポイント上昇した。「言葉は知っているが、意味もしくは重要性を理解できない」は4.2%(5社)となり、これらを合わせた『SDGsを認知しつつも取り組んでいない』は46.6%(55社)となり、2年連続で前年を上回った。

規模別でみると、『SDGsに前向き』では、「大企業」(構成比56.3%・9社)が「中小企業」(50.0%・51社)より6.3ポイント高かった。一方、『SDGsを認知しつつも取り組んでいない』では、「中小企業」(48.0%・49社)が「大企業」(37.5%・6社)より10.5ポイント高かった。

SDGs への理解と取り組み

SDGsに前向き (旧称:SDGsに積極的)



注1:『SDGsに前向き』は、「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」と「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」の合計で、2025年調査までの『SDGsに積極的』から名称のみ変更
 注2:母数(有効回答企業)は、2026年118社、2025年130社、2024年146社、2023年155社、2022年152社、2021年121社、2020年128社
 注3:小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%とはならない

(構成比%、カッコ内社数)										
2026年6月調査	SDGsに前向き	意味および重要性を理解し、取り組んでいる	意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている	SDGsを認知しつつも取り組んでいない	言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない	言葉は知っているが、意味もしくは重要性を理解できない	言葉も知らない	分からない	合計	
全国	52.6 (5,474)	30.3 (3,150)	22.3 (2,324)	42.5 (4,429)	34.3 (3,574)	8.2 (855)	0.4 (45)	4.5 (465)	100.0 (10,413)	
山口	50.9 (60)	24.6 (29)	26.3 (31)	46.6 (55)	42.4 (50)	4.2 (5)	0.0 (0)	2.5 (3)	100.0 (118)	
大企業	56.3 (9)	25.0 (4)	31.3 (5)	37.5 (6)	37.5 (6)	0.0 (0)	0.0 (0)	6.3 (1)	100.0 (16)	
中小企業	50.0 (51)	24.5 (25)	25.5 (26)	48.0 (49)	43.1 (44)	4.9 (5)	0.0 (0)	2.0 (2)	100.0 (102)	
うち小規模	40.5 (17)	14.3 (6)	26.2 (11)	57.1 (24)	50.0 (21)	7.1 (3)	0.0 (0)	2.4 (1)	100.0 (42)	
農・林・水産	50 (2)	25.0 (1)	25.0 (1)	25.0 (1)	0.0 (0)	25.0 (1)	0.0 (0)	25.0 (1)	100.0 (4)	
建設	41.6 (10)	33.3 (8)	8.3 (2)	54.2 (13)	50.0 (12)	4.2 (1)	0.0 (0)	4.2 (1)	100.0 (24)	
不動産	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)	100.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (3)	
製造	67.8 (21)	32.3 (10)	35.5 (11)	29.0 (9)	25.8 (8)	3.2 (1)	0.0 (0)	3.2 (1)	100.0 (31)	
卸売	39.3 (11)	17.9 (5)	21.4 (6)	60.7 (17)	57.1 (16)	3.6 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (28)	
小売	66.7 (4)	16.7 (1)	50.0 (3)	33.3 (2)	33.3 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (6)	
運輸・倉庫	25.0 (1)	0.0 (0)	25.0 (1)	75.0 (3)	50.0 (2)	25.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (4)	
サービス	61.1 (11)	22.2 (4)	38.9 (7)	38.9 (7)	38.9 (7)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (18)	

注1:網掛けは、山口県の全体以上を表す
 注2:母数是有効回答企業118社

2. いずれかの SDGs 目標に力を入れている企業は 76.3%、 4 年連続で 7 割を超える

SDGsで掲げられている 17 目標のうち、現在力を入れている項目を尋ねたところ(複数回答、以下同)、目標の 8 つ目である「働きがいも経済成長も」が 118 社中 41 社、構成比 34.7%で最も高かった。次いで、太陽光や風力などの再生可能エネルギーを活用する「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」が 27.1%(32 社)、「気候変動に具体的な対策を」が 20.3%(24 社)で 2 割を超えた。

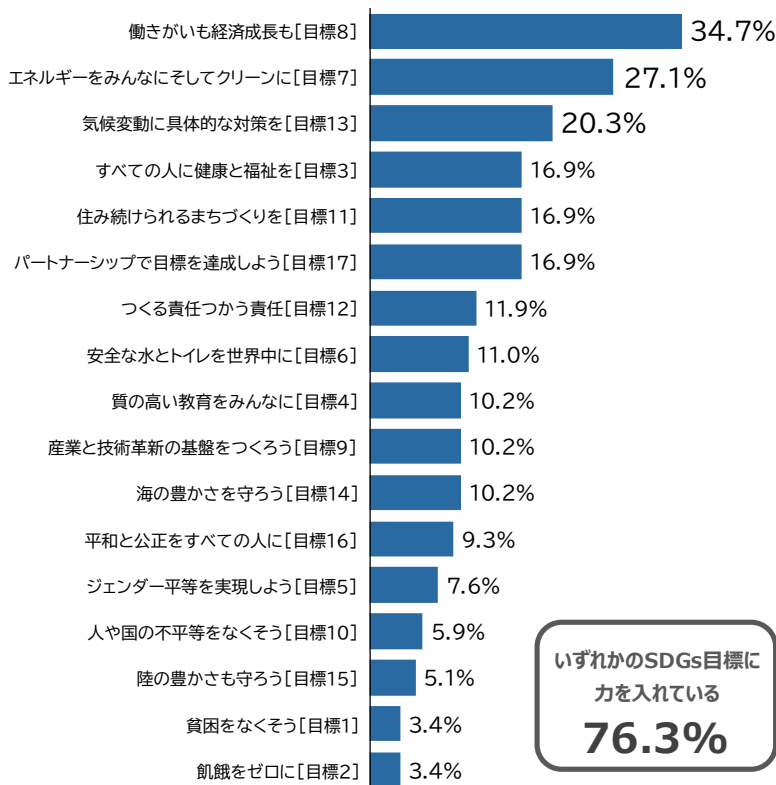
以下、「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」「パートナーシップで目標を達成しよう」が各 16.9%(各 20 社)、「つくる責任つかう責任」(11.9%・14 社)、「安全な水とトイレを世界中に」(11.0%・13 社)、「質の高い教育をみんなに」「産業と技術革新の基盤をつくろう」「海の豊かさを守ろう」が各 10.2%(各 12 社)が続いた。

いずれかの SDGs 目標に力を入れている企業は 76.3%(90 社)となった。前年(71.5%)から 4.8 ポイント上昇した。

規模別では、「大企業」が 75.0%で、前年の 63.6%から 11.4 ポイント上昇した。「中小企業」も 76.5%と、前年の 72.3%から 4.2 ポイント上昇し、いずれの規模でも前年を上回った。企業における取り組みの広がりや企業規模を問わず拡大していることがうかがえる。

SDGs17 目標のうち、現在力を入れている項目・企業

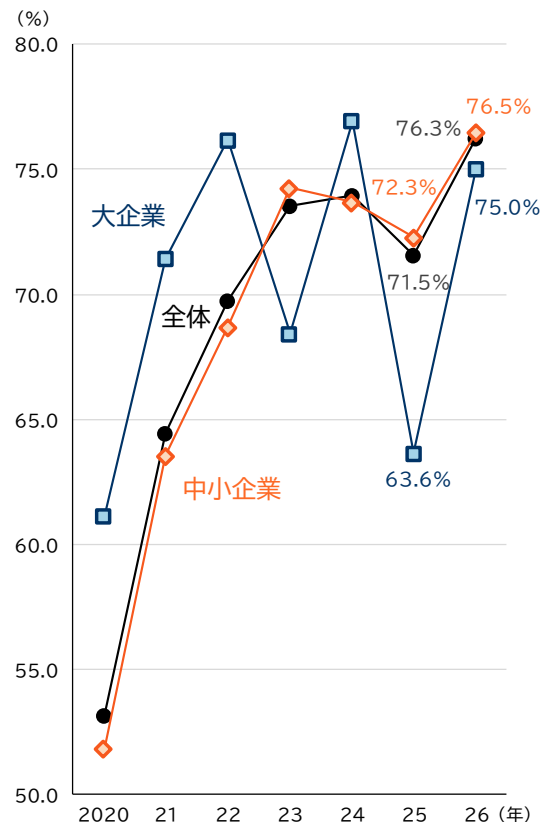
SDGs17 目標のうち、現在力を入れている項目(複数回答)



注:母数(有効回答企業数)は、118社

いずれかのSDGs目標に
力を入れている
76.3%

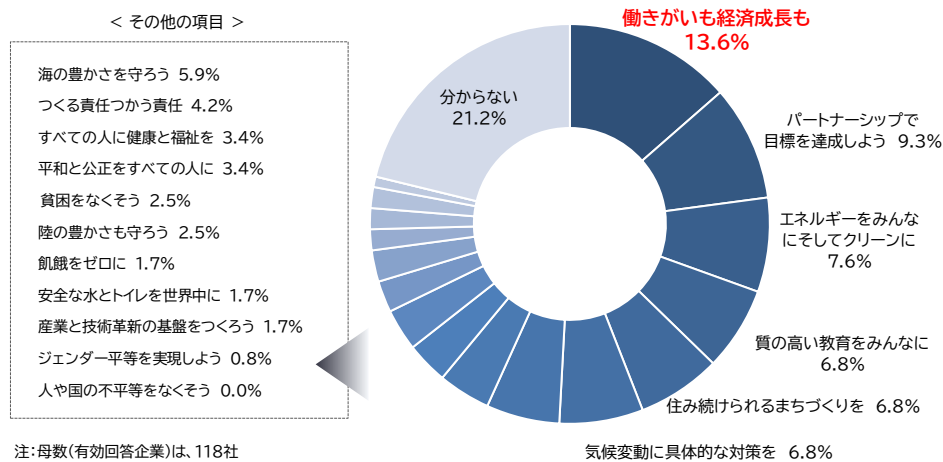
いずれかの SDGs 目標に力を入れている企業 推移
～規模別～



3. 今後最も取り組みたい目標、「働きがいも経済成長も」がトップ

SDGsで掲げられている 17 目標のうち、今後最も取り組みたい目標を尋ねたところ、目標の 8 つ目に掲げられている「働きがいも経済成長も」が 118 社中 16 社、構成比 13.6%で最も高かった。以下、「パートナーシップで目標を達成しよう」(9.3%・11 社)、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」(7.6%・9 社)、「質の高い教育をみんなに」「住み続けられるまちづくりを」「気候変動に具体的な対策を」が各 6.8%(各 8 社)で続いた。雇用環境と経済成長の向上に加え、他企業や地域社会との連携を通じた目標達成のほか、気候変動などによる災害発生への備えを意識する企業の傾向が多くみられた。

SDGs の 17 目標のうち、今後最も取り組みたい目標

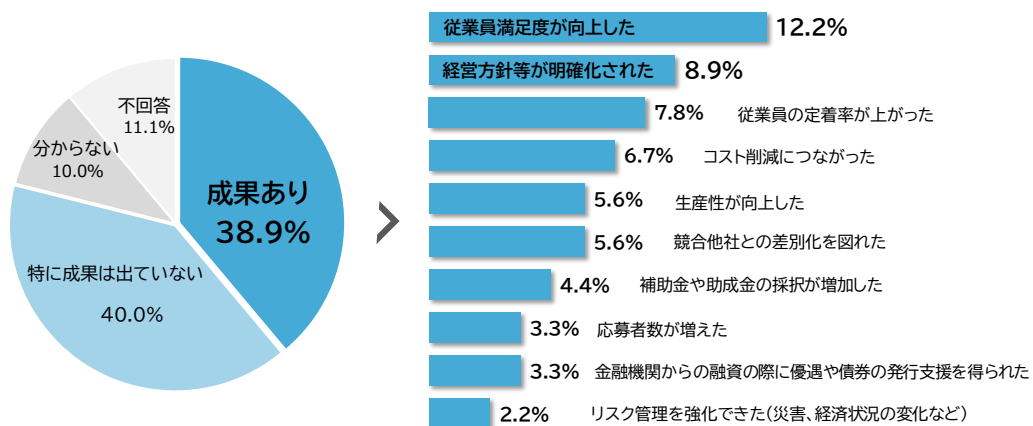


4.SDGs に取り組む企業の約 4 割が成果を実感

いずれかのSDGs目標に力を入れている企業 90 社に、取り組みによる成果を尋ねたところ(複数回答、以下同)、『成果あり』の企業は 38.9%(35 社)となった。

具体的な成果では、「従業員満足度が向上した」が構成比 12.2%(11 社)で最も高かった。次いで、「経営方針等が明確化された」(8.9%・8 社)、「従業員の定着率が上がった」(7.8%・7 社)となり、SDGsへの取り組みは、従業員のエンゲージメント向上や組織運営の強化に加え、人材の定着化につながっていることがうかがえた。

SDGs への取り組みによる成果～上位 10 項目～(複数回答)



まとめ

本調査の結果、『SDGsに前向き』な山口県の企業の割合は50.9%となり、2年連続で前年を下回った。内訳は、「意味および重要性を理解し、取り組んでいる」企業が24.6%で、「意味もしくは重要性を理解し、取り組みたいと思っている」企業が26.3%となった。

SDGsの17目標のうち、現在力を入れている項目および今後最も取り組みたい目標は、ともに「働きがいも経済成長も」がトップとなった。いずれかのSDGs目標に力を入れている企業は76.3%で前年を上回り、4年連続で7割を超えた。また、取り組みを通じて、「従業員満足度が向上した」「経営方針等が明確化された」「従業員の定着率が上がった」など、組織運営面での成果を実感している企業が4割近くを占めた。

一方で、「言葉は知っていて意味もしくは重要性を理解できるが、取り組んでいない」は42.4%を占めた。また、「言葉は知っているが、意味もしくは重要性を理解できない」は4.2%となった。これらを合わせた『SDGsを認知しつつも取り組んでいない』は46.6%となり、2年連続で前年を上回った。経営資源が限られる中小企業では、SDGsを経営課題として組み込み、比較的負担の少ない施策から段階的に取り組むことで、社会的価値の創出への第一歩となるだろう。

企業からの声

- ・支援機関を活用し、SDGs宣言や中小企業SBT認定を取り入れたものの、実際の取り組みは従来の節約・省エネの範囲にとどまっている。取り組みによる効果を実感しづらく、実効性が高まらない（建設）
- ・今後は経営計画にも反映しながら、取り組みを進めていく必要がある（飲食料品製造）
- ・すべての項目を実現させることは、難しいと思う（建設）
- ・SDGsは、国や地域を問わず全世界で足並みを整え、継続的な改善を目指して取り組むべき（サービス）

【企業規模区分】

※中小企業基本法に準拠するとともに、全国売上高ランキングデータを加え、下記の通り区分

業界	大企業	中小企業(小規模企業を含む)	小規模企業
製造業その他の業界	「資本金3億円を超える」かつ「従業員数300人を超える」	「資本金3億円以下」または「従業員300人以下」	「従業員20人以下」
卸売業	「資本金1億円を超える」かつ「従業員数100人を超える」	「資本金1億円以下」または「従業員数100人以下」	「従業員5人以下」
小売業	「資本金5千万円を超える」かつ「従業員50人を超える」	「資本金5千万円以下」または「従業員50人以下」	「従業員5人以下」
サービス業	「資本金5千万円を超える」かつ「従業員100人を超える」	「資本金5千万円以下」または「従業員100人以下」	「従業員5人以下」

注1: 中小企業基本法で小規模企業を除く中小企業に分類される企業のなかで、業種別の全国売上高ランキングが上位3%の企業を大企業として区分

注2: 中小企業基本法で中小企業に分類されない企業のなかで、業種別の全国売上高ランキングが下位50%の企業を中小企業として区分

注3: 上記の業種別の全国売上高ランキングは、TDB産業分類(1,359業種)によるランキング